

貴重書の世界

—宮城県図書館所蔵—

五山版(ござんばん)

江戸時代になって商業出版が盛んになるまでは、本といえは写本(手書きの本)が普通であった。木版印刷による本の製作は、平安時代の中頃から寺院または僧侶によって行われていたが、数も少なく、仏教関係のものばかりであった。鎌倉時代の中頃、京都と鎌倉の五山(禅宗で寺格の高い五寺のこと)を中心に出版活動が始まり、室町時代まで続き、これらの出版物を「五山版」という。

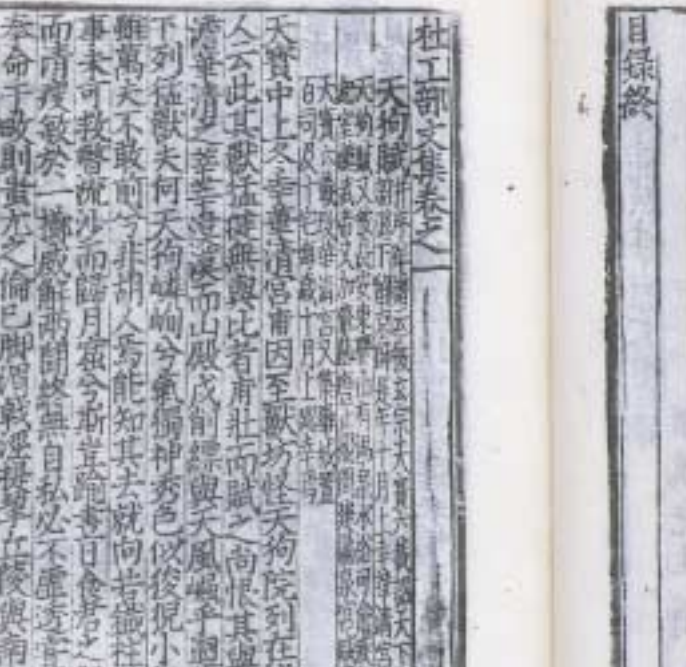
五山版の特色は、初めて仏教以外の本である漢籍を出版したこと、和紙の片面刷りで、袋綴(ふくろとじ)というスタイルを確立したことである。

五山版は約280種確認されており、本館には5種類78冊が存している。そのなかで最古のものは、南北朝時代(1336-1392年)に刊行されたもので、これまた本館の日本の本では、最古である。

写真は、唐代の大詩人・杜甫(とほ/712-770年)の詩集で、旧仙台藩主伊達家蔵書であった。

(資料奉仕部 萱場健之)

時空をこえて



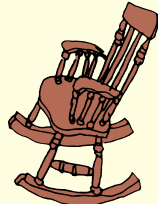
『集千家註批点杜工部詩集』(五山版 南北朝時代刊)
(しゅうせんかちゅうひてんとこうぶししゅう)

わたしのこの一冊

My Favorite Book

『世紀末音楽ノオト』

吉松 隆 著
音楽之友社 1994年



「音楽＝生涯の友」

柴田町 星 一 利

しかし、吉松隆は違う。

音楽大学は出ていないし、一時期を除いては独学で作曲を学んでいる。私はここから興味が沸いてきた。何ら一般人と変わりないではないかと。

しかも文章が面白い。読んで笑った本は2冊目である。1冊目は中学の時に読んだ夏目漱石『坊ちゃん』。

読んでいくうちに吉松の世界に引き込まれ、そこには先入観も偏見もない。ただ、美しい音楽を書きたいという著者の思いが伝わってくる。

最後に、私に吉松隆の作品に触れる機会を与えてくれた「仙台フィルハーモニー管弦楽団」に感謝。一聴一読の価値は大いにあり。

「作曲家」とか「現代音楽」というと、ほとんど「興味ナシ」だろう。作曲家に対する偏見、現代音楽に対する先入観は誰でも持っている。少し前まで私も持っていた。

INFORMATION

図書館からのお知らせ

●イベント情報

11月は、生涯学習推進月間

アンさんの日本体験談を聞く会

- 平成11年11月21日(日)
- 13:30~15:00
- ゲスト 宮城大学専任講師 アン・マクドナルドさん
- 申込不要、先着200人が定員です。

紙芝居の世界

- 平成11年11月28日(日)
- 13:00~15:00
- 演者 みやぎ紙芝居の会代表 常盤洋美さん

市町村フェア

市町村の生涯学習などの成果発表・市町村紹介など

- (1) 古川市フェア
○平成11年11月9日(火)~21日(日)
- (2) 大衡村フェア
○平成11年11月24日(水)~12月5日(日)
○10:00~16:00(最終日は正午まで)

※他に、「上映会」「CDコンサート」「子ども放送局」などを開催します。

《お問い合わせ先》
企画担当へ ☎022-377-8444

図書館Q&A

Q 図書館で働くには司書の資格が必要と聞いています。アルバイトや臨時の方でも司書の資格が必要なのですか。(巨理町 Kさん)

A 図書館は、人類が知識を共有するための社会的機能と考えられ、ナビゲーター、コーディネーターとして司書は重要な役割を期待されています。図書館法でも専門的職員と位置づけられています。しかし、司書の制度は様々で、公立図書館の場合は公務員試験に合格する必要があります。臨時的な雇用等で資格を条件として問う場合もあります。

このコーナーへのご質問は、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入のうえ、はがきで図書館までお寄せください。

ことばのうみ

著者・高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889年~1891年刊行)に由来する。

編集・発行 ●宮城県図書館

〒981-3205

宮城県仙台市泉区紫山一丁目1番地1

TEL 022(377)8441(代表)

FAX 022(377)8484



◆表紙エッセイ/小池真理子さん◆

こいけ まりこ。作家。1952年東京都生まれ。宮城県第三女子高等学校、成蹊大学文学部卒業。出版社勤務を経て著作活動を開始。1978年『知的悪女のすずめ』でデビューし、1989年『妻の女友達』で日本推理作家協会賞(短編部門)受賞、1996年『恋』で直木賞受賞。著書のなかには、仙台を舞台にした『無伴奏』(1990年)や『水の翼』(1998年)もある。